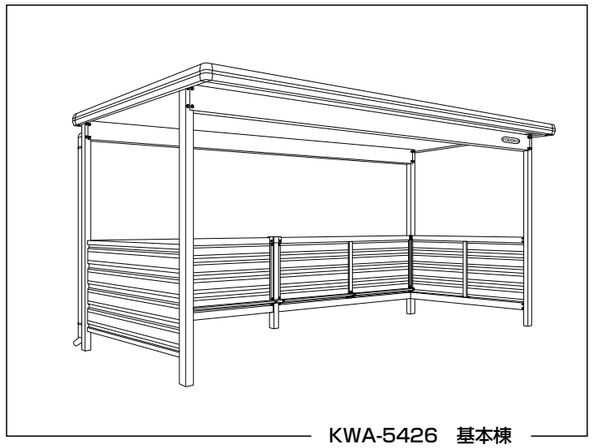
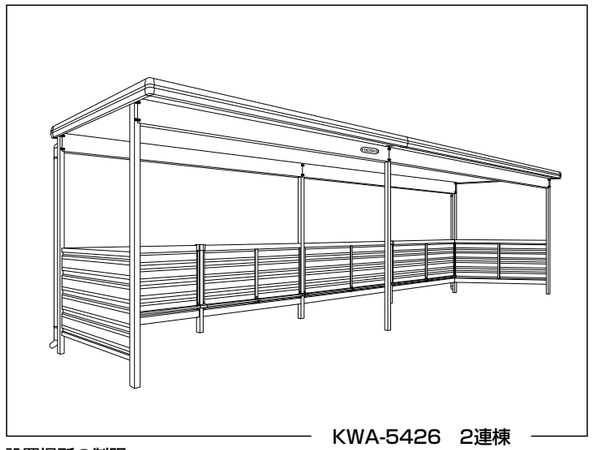
ヨド自転車置場
ＫＷＡ（一般地型）組立説明書

このたびは「ヨド自転車置場」をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



KWA-5426　基本棟



KWA-5426　2連棟

設置場所の制限

⚠注意

- ●建物の屋上には設置しないでください。
- ●避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- ●大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- ●崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- ●給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

⚠注意

- ●転倒防止工事を必ず行ってください。
- ●仮組み用のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

お願い

- ●組立の際には手袋を着用してください。
- ●風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- ●高い足場が必要なときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- ●組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立てしてください。
3.部材は、すべて、鋼製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
（安全のため必ず手袋を着用してください。）
4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなくなった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

梱包組合せ表

梱包名	梱包番号	梱包重量	KWA-5426 基本棟	KWA-5426 追加棟
部品	ＫＷ１-０１０１	１６．０	１	
	ＫＷ１-０１５１	１１．０		１
柱	ＫＷ１-０４０１	３６．０	１	
	ＫＷ１-０４０３	３６．０	１	
	ＫＷ１-０４０５	３６．０		１
支柱	ＫＷ１-０４２１	１６．０	１	１
桁	ＫＷ１-０５０１	４５．０	１	１
	ＫＷ１-０５０２	４５．０	１	１
胴縁	ＫＷ１-０６０１	３７．０	１	１
	ＫＷ１-０６０３	２７．０	１	
屋根	ＫＷ１-０９０１	１０．０	９	９
屋根部品	ＫＷ１-０９５１	９．５	１	
	ＫＷ１-０９５３	９．０		１
壁 ※1	ＫＷ１-１００１	１８．０	１	１
	ＫＷ１-１００３	１４．０	１	
鼻隠し	ＫＷ１-１１０２	１８．０	１	
	ＫＷ１-１１０４	１８．０		１
ケラバ	ＫＷ１-１１２１	１７．０	１	
計			２２	１８

※1　壁梱包にはTS（チタニウムシルバー）・OR（ハッピーオレンジ）・GR（ポップグリーン）の3色があります。色があっている事を確認してください。

梱包内容表

●部品梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0101	桁金具	4
	鼻隠しコーナー樹脂	4
	止水パッキン	2
	コーキング	1
	φ60丸樋回転サドル	2
	φ60用アタッチメント	1
	CBφ60用孔塞ぎプレート	1
	CBφ60丸樋エルボ（70度）	3
	接着剤	1
	なべテックス5φ×16	2
	なべタッピングビス5φ×16	4
	鼻隠し補強金具	2
	アンカープレートN	5
	鉄筋10φ×350	5
	ボルトセット	一式
	CB支柱キャップ	1
	車止めブラケット（1）	4
	CB車止めブラケット（4）	1
	補修塗料	1
	銘板	1
	組立説明書	1
	取扱説明書	1
	保証書	1
KW1-0151	桁金具	2
	鼻隠し補強金具	4
	鼻隠し接続金具	1
	トイ接続金具	1
	コーキング	1
	φ60丸樋回転サドル	2
	φ60用アタッチメント	1
	CBφ60丸樋エルボ（70度）	3
	接着剤	1
	なべテックス5φ×16	2
	なべタッピングビス5φ×16	2
	アンカープレートN	3
	鉄筋10φ×350	3
	ボルトセット	一式
	CB支柱キャップ	1
	車止めブラケット（1）	2
	CB車止めブラケット（4）	2

●柱梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0401	CB柱前A左28	1
	CB柱後A左28	1
KW1-0403	CB柱前A右28	1
	CB柱後A右28	1
KW1-0405	CB柱前A中28	1
	CB柱後A中28	1

●支柱梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0421	CB支柱	1
	間柱（KN）背	2
	額縁（KN）右、(左)	各2

●桁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0501	CB桁54	1
KW1-0502	CB桁54PL12	1

●胴縁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0601	CB胴縁A27	1
	CB胴縁B27	1
	CB胴縁C27	2
	CB車止めパイプ27	2
	CB廻し縁27	2
KW1-0603	CB胴縁C20	4
	間柱（6）	2
	額縁（6）	4
	CB廻し縁20	2

●屋根梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0901	CB屋根A26	1

●屋根部品梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-0951	端パネル受フレームB-N	4
	端パネル受フレームA	4
	パネル受フレーム88-I型	16
KW1-0953	端パネル受フレームA	6
	パネル受フレーム88-I型	16

●壁梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-1001TS	CB壁27TS	2
KW1-1001OR	CB壁27OR	2
KW1-1001GR	CB壁27GR	2
KW1-1003TS	CB壁20TS	2
KW1-1003OR	CB壁20OR	2
KW1-1003GR	CB壁20GR	2

●鼻隠し梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-1102	CB鼻隠し54-A	1
	CBトイ54-A	1
	竪トイ	1
KW1-1104	CB鼻隠し54-B	1
	CBトイ54-B	1
	竪トイ	1

●ケラバ梱包

梱包番号	部材名	数量
KW1-1121	CBケラバ左（右）	各1
	CB上枠左（右）	各1

オプション明かり採り屋根セット（標準屋根板と差し替え）

梱包名	梱包番号	一般地用
CB明り採り屋根	KW1-0981	1

オプションベフ付屋根（標準屋根板と差し替え）

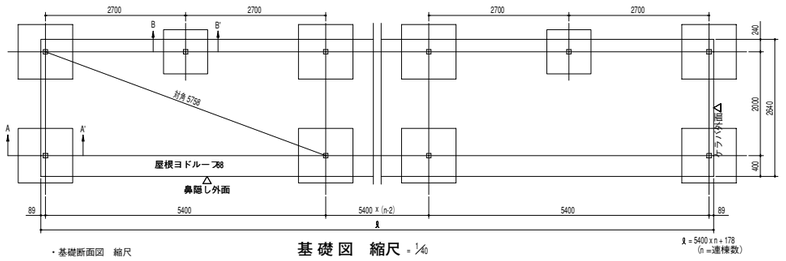
梱包名	梱包番号	KWA-5426 基本棟	KWA-5426 追加棟
CB屋根Aベフ付	KW1-0911	9	9

■基礎平面図・基礎断面図

柱を建てる際に付属の仮組み用アンカープレートNを使用する場合としない場合を選択できます。
アンカープレートNを使用する場合は別途アンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）が必要となります。

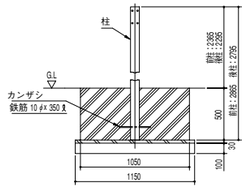
注意　アンカープレートNは強度部材ではありませんので、使用しても基礎寸法を小さくすることはできません。

※仮組み用アンカープレートNを使用する場合は **2 柱の建て方** アンカープレートN孔位置図を参考にしてください。

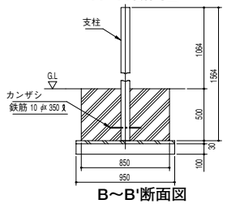


・基礎断面図　縮尺

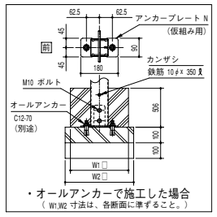
基礎図　縮尺 = 1/40



A～A'断面図



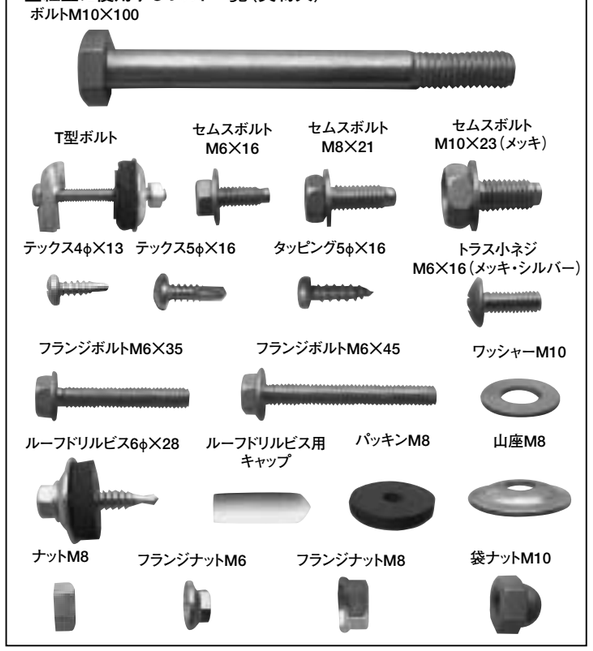
B～B'断面図



・オールアンカーで施工した場合
（W1,W2 寸法は、各断面に準ずること。）

※基礎・転倒防止工事については標準的施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

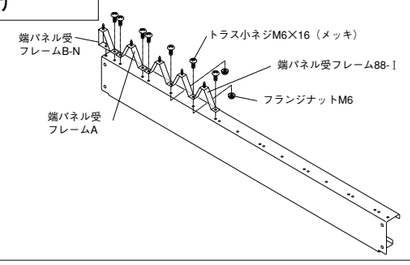
■組立に使用するボルト一覧（実物大）



※組立て部材には保護フィルムを貼付けてあるものがあります。必ずはがしてから組立を行ってください。

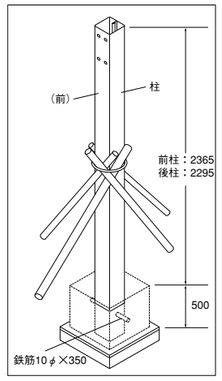
1 パネル受フレームの取付け

パネル受フレームを桁に取付けます。

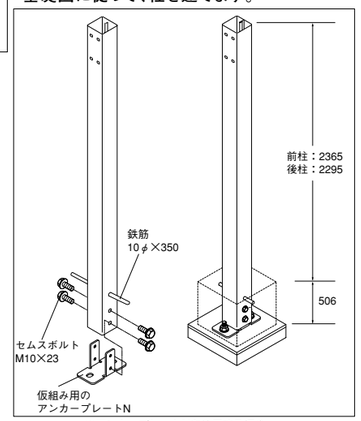


2 柱の建て方

基礎図に従って、柱を建てます。



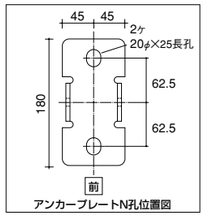
※アンカープレートNを使用しない場合。



※アンカープレートNを使用する場合。

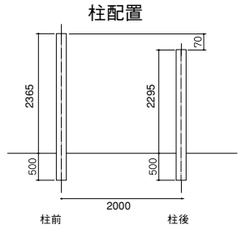
※仮組み用アンカープレートNを使用する場合の埋め込み量は506mmです。
※アンカープレートNを使用する場合のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

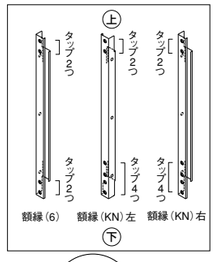
⚠注意　柱は自立しませんので、上図部の様に、倒れない工夫をしてください。

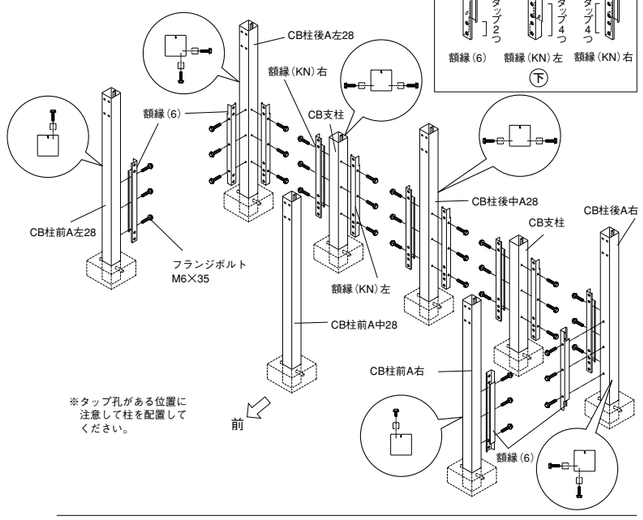


アンカープレートN孔位置図

柱配置



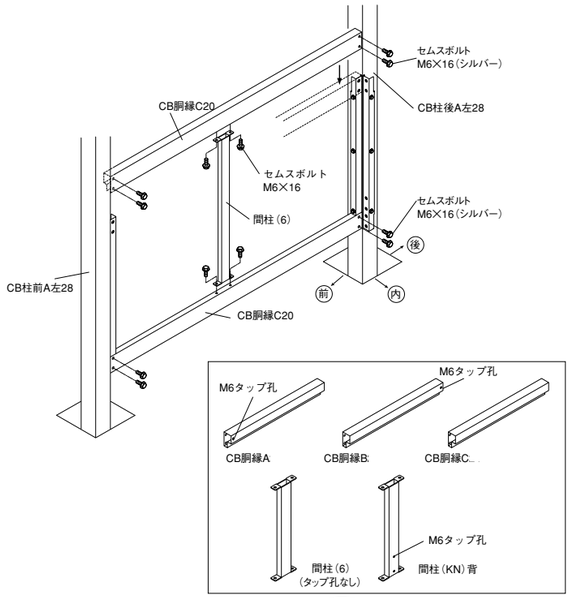


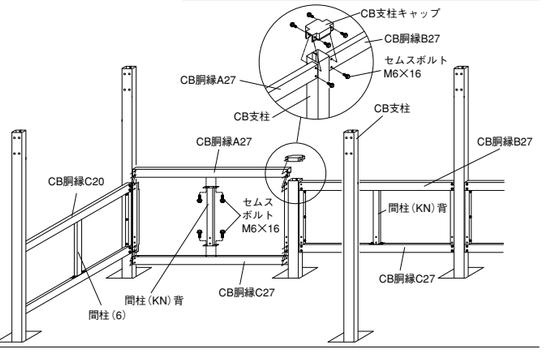


※タップ孔がある位置に注意して柱を配置してください。

3 胴縁、間柱の取付

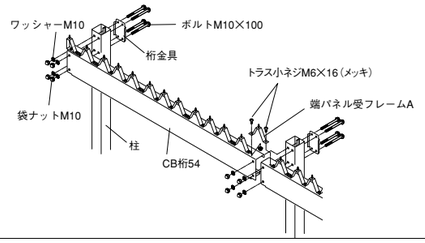
①胴縁を額縁に取付けます。
②間柱を胴縁に取付けます。
※額縁、胴縁には種類があります。
下記参照





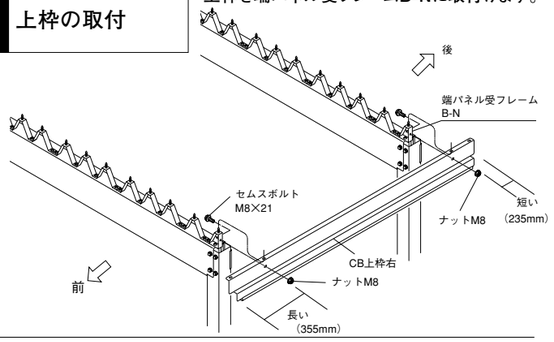
4 桁の取付

桁と桁金具を、柱に取付けます。
連結部には、端パネル受フレームAを取付けます。



5 上枠の取付

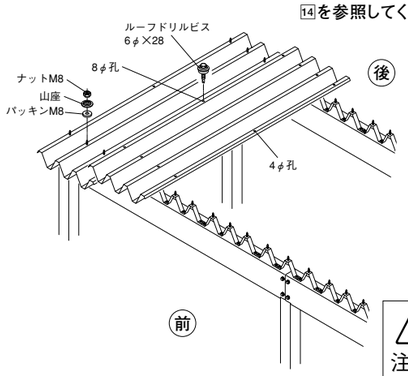
上枠を端パネル受フレームB-Nに取付けます。

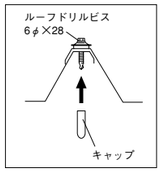


6 屋根の取付け

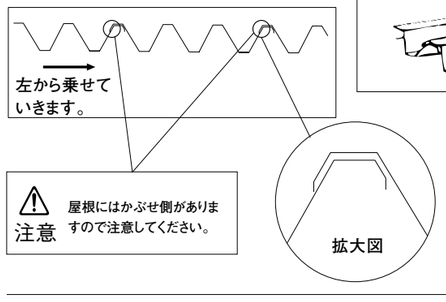
屋根を左から乗せていき、ナットで固定します。
屋根の重ね部にルーフドリルビスを打ち込み、下からキャップをかぶせます。ルーフドリルビスは桁間でガイド孔(4φ、8φ孔)があるところに取付けます。
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)

※オプション 明り採り屋根を取付ける場合は、14を参照してください。





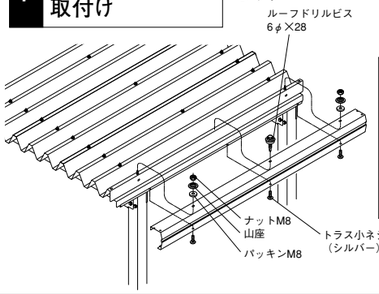
⚠ 注意 屋根の上には乗らないでください。転倒、転落のおそれがあります。

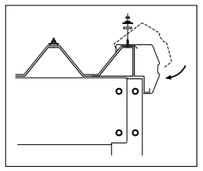


⚠ 注意 屋根にはかぶせ側がありますので注意してください。

7 ケラバの取付け

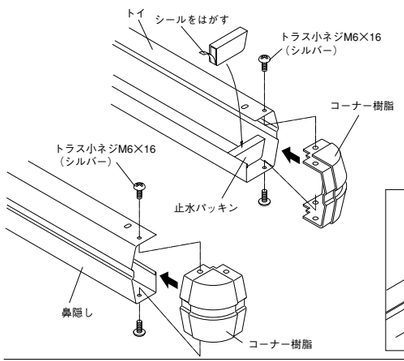
ケラバを図の様に上枠にかぶせる様、取付けます。

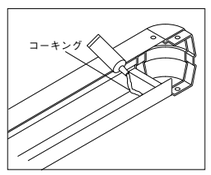




8 コーナー樹脂、止水パッキンの取付け

コーナー樹脂を鼻隠し、トイのコーナー部に取付けます。止水パッキンをトイの両端に貼り、内側からコーキングを施します。
※鼻隠し、トイの配置は 9 鼻隠し、トイの取付け を参照してください。

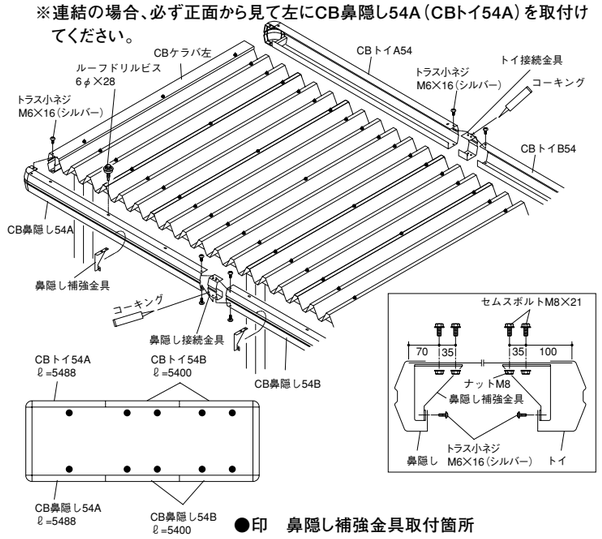




9 鼻隠し、トイの取付け

①鼻隠し、トイをケラバ、鼻隠し接続金具、トイ接続金具に取付けます。接続金具部にはコーキングを施してください。
②鼻隠し、トイ、鼻隠し補強金具を取付けます。
③屋根には、鼻隠し補強金具の孔に合わせて、10φの孔加工をしてください。(下図参照)
④鼻隠し、トイをルーフドリルビスで屋根に固定してからキャップをかぶせます。
鉄粉は必ず除去してください。
(サビの原因になります)

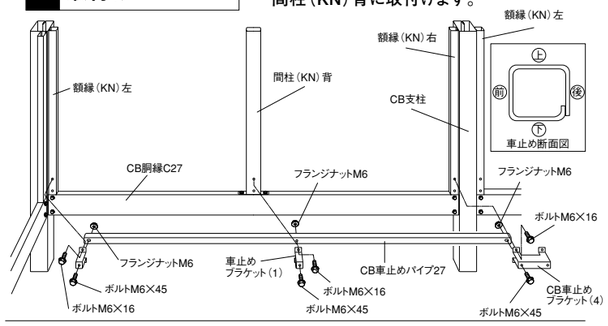
※連結の場合、必ず正面から見て左にCB鼻隠し54A(CBトイ54A)を取付けてください。



●印 鼻隠し補強金具取付箇所

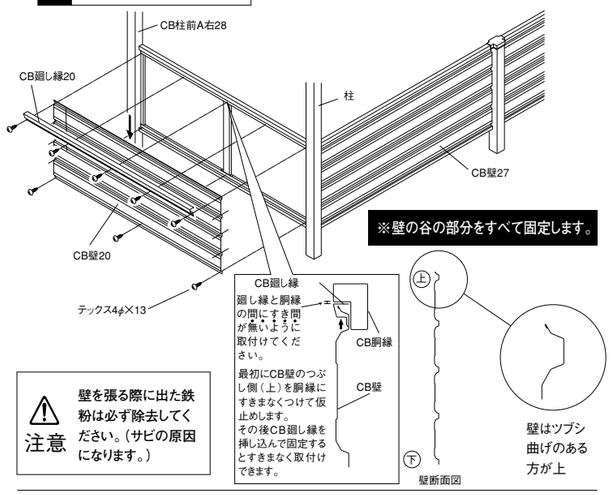
10 車止めパイプの取付け

①ブラケットを車止めパイプに取付けます。
②車止めパイプを額縁(KN)左(右)、間柱(KN)背に取付けます。



11 壁の取付け

壁を外側から張り付け、廻し縁と一緒にテックスで胴縁・額縁・間柱に固定します。

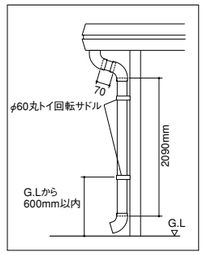


⚠ 注意 壁を張る際に出た鉄粉は必ず除去してください。(サビの原因になります。)

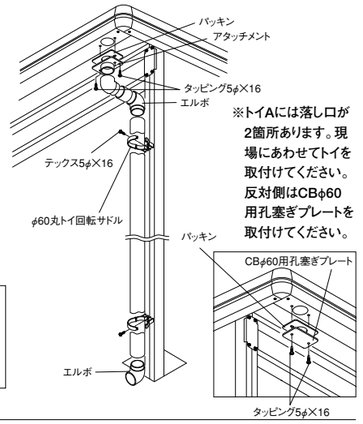
12 竪トイの取付け

図の様に竪トイを取付けます。
部材の接合部には接着剤を塗布してください。

※パッキンはシールをはがしてください。



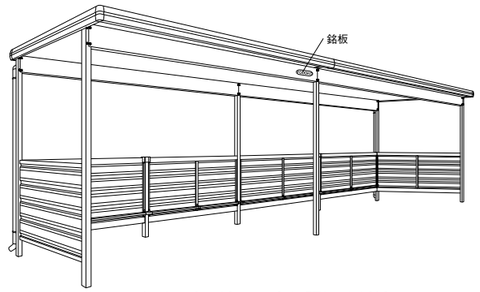
⚠ 注意 竪トイが凍結する恐れのある地域は、竪トイを取付けないでください。



※トイAには落し口が2箇所あります。現場にあわせてトイを取付けてください。
反対側はCBφ60用孔塞ぎプレートを取付けてください。

13 完成図

最後に銘板を貼り付け、柱をモルタルで固定し、安全を確認してから、柱の支えをはずしてください。



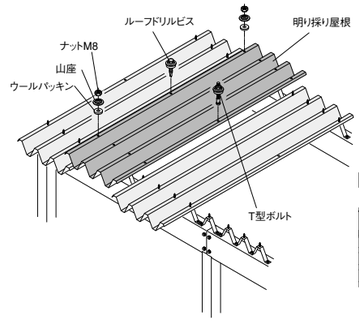
※以上で完成です。ボルトの締め忘れがないかを確認してください。

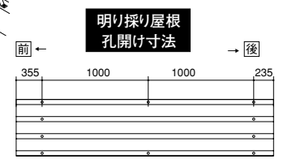
14 オプション 明り採り屋根

⚠ 注意
- ●オプションの明り採り屋根がある場合、屋根の施工と同時に行ってください。
- ●明り採り屋根を施工する前に、表・裏面の保護フィルムを取り除いてください。
- ●明り採り屋根は、傷つきやすいため、取扱いには十分気をつけてください。
- ●明り採り屋根の取付けは、必ず両面にスチール製折板屋根を取り付けてから行ってください。
- ●明り採り屋根とスチール製折板屋根の重ね部には、ルーフドリルビスとT型ボルトを使用してください。

※明り採り屋根に、下図の箇所に10φの孔を開けます。

スチール製折板屋根を屋根1枚分開けて取り付けます。明り採り屋根を、スチール製折板屋根にかぶせ、ナットで固定します。屋根と桁間の重ね部はルーフドリルビスとT型ボルトで固定します。





お客様へ
組立説明書と取扱説明書は大切に保管してください。

施工業者の方へ
取扱説明書は大切な書類です。本書と取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

ヨド自転車置場
KWA(一般地型)
ヨドコウ
淀川製鋼
(2005.10月制作)